



撮影環境：蛍光灯
ホワイトバランス：蛍光灯用



撮影環境：蛍光灯
ホワイトバランス：太陽光用



撮影環境：蛍光灯
ホワイトバランス：電球光用

ホワイトバランス 【White Balance】

写真撮影での環境光による色の影響を補正する機能

vol. 68

白いものを白く写す

ホワイトバランス（以下 WB）とは、写真を撮影する際に、白い被写体をそのまま白く撮影するためのカメラの機能のことを指します。

写真撮影では、被写体の色は環境の光に影響されます。例えば晴天の屋外や蛍光灯の光は青っぽい光をしており、夕方の屋外や電球の光は黄色っぽい光をしています。そのためそれらの光に照らされた被写体も影響を受け、白いものが青みや黄色みを帯びます。しかし人間の感覚はこうした環境光による影響を頭の中で補正し、白色の被写体が実際には青みや黄色みを帯びていてもそれを「白い」と認識します。一方、写真は反射光の色をそのまま記録するため、撮影した写真の色との間に認識のギャップを感じる場合があります。

こうした環境光による色の影響を調整するのが WB です。この機能は、青っぽい光環境での撮影であれば青みを補正し、本来の被写体の色に近い色を表した画像をつくります。裏面の写真のように、適切な WB 調整ができていると撮影した画像は自然な色合いに見えますが、適切でないと本来の色味と異なる画像ができてしまいます。現在のデジタルカメラなどは、撮影環境に応じて自動で WB 調整を行うので、意識しなくても自然な写真が撮影できますが、さらに厳密に調整する場合は、画像編集ソフトを使って色の補正を行います。

写真の色味は商品の魅力に影響を及ぼします。例えば、早朝の青白い光に照らされた風景写真は雰囲気があり魅力的に感じますが、人の肌色や食べ物がメインの写真では青みが被っていると魅力的に見えません。特に商品写真では、その色を正しく表現していないとトラブルのもとにもなります。写真を通じたコミュニケーションによるビジネスが増えている現在では、色味を正しく表現するということも意識しておくといいでしょう。

※このカードは、新製品や新企画の着想を得ることを支援するものです。

DESIGN YAMANASHI「ホワイトバランス」

発行日：2025 年 5 月 編集・発行：山梨県産業技術センター 甲府市大津町 2094

